

明治二十九年三月二十七日

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

里

大藏大臣

正

海軍大臣

加

文部大臣

印

遞信大臣

新

農商務大臣

武

農商務大臣

正

別紙陸軍大臣請議臨時陸軍運輸通信部官制制定件ヲ審査スルニ大本營閉鎖後臺灣威海衛朝鮮等ノ駐在軍隊ニ係る業務ヲ繼續スル爲メ此ノ機關ヲ要スト云フニ在リテ不得已儀ニ付

請議、通閣議決定相成可然ト認ム

追テ本件ニ關スル經費ハ既ニ議會ノ協賛ヲ
經タル臨時軍事費中ニ包含スルモノニ有之
候

勅令案

呈案附箋、通

附箋、廉ハ主務省ニ協議濟

大本營開鎖後、於ケル臺湾、威海衛、朝鮮等ニ駐在軍隊ニ關スル業務ヲ繼續スル為、特別機関、設置ヲ要スルニ依リ、臨時陸軍運輸、通信部官制、制定相成度、勅令案

相添、閣議ヲ請フ

明治廿九年三月廿五日

陸軍大臣侯爵大山巖

内閣總理大臣臨時代理
樞密院議長伯爵黒田清隆殿

初令案

朕臨時陸軍運輸通信部官制ヲ裁可シ
茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

内閣總理大臣 暫行

陸軍大臣

文政元年二月八日

勅令萬言號

別紙臣等陸軍運輸通信部官制

臨時陸軍運輸通信部官制

第一條

臨時陸軍運輸通信部ハ陸軍大臣、監督ニ屬シ臺灣及海外駐在部隊並軍需品之運輸及其他之ニ属スル鐵道船舶輸送上ノ業務

及軍事通信ノ事ヲ掌ル

第二條 臨時陸軍運輸通信本部ヲ東京ニ置キ其支部ヲ宇品、威海衛^及基隆ニ置ク

但 陸軍大臣ハ必要ニ應ニ支部出張所ヲ適宜ノ場所ニ置クコトヲ得

第三條 本部尤^ニ職員ヲ置ク

兼任

部長

一人

事務官

専任三人

書記

専任四人

第四條 各支部ニ左ノ職員ヲ置ク

宇品支部

支部長 一人

事務官 専任七人

書記 記

専任十二人

威海衛支部

支部長 一人

事務官 專任五人

書記 記

専任十人

基隆支部

支部長 一人

事務官 專任六人

書記 記

専任十七人

第六條 部長ハ陸軍大臣、命ニ承ケ部務ヲ管理ス
第七條 支部長ハ部長、命ニ承ケ其支部事務ヲ掌理ス

第八條 本部事務官ハ部長、支部事務官、支部長、命ニ承ケ
各部務ヲ分掌ス

第九條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務、從事ス
書記ハ便宜陸軍下士ヲ以テ之ニ充ツ
第十條 患者收容、為ノ宇品支部、下、患者集会所ヲ置キ必要ニ
應ニ、所負ヲ威海衛又ハ基隆ニ派遣シ同所支部長、指揮下ニ在

テ業務ヲ執ラシム其職負龙ノ如ニ

軍

医

五人

看護

長

又看護手

八人

第十一條 患者輸送ノ為メ宇呂支部ノ下ニ病院船ヲ置キ同所支部長
ノ指揮下ニ在テ業務ヲ執ラシム其職負龙ノ如ニ

二等軍医正又ハ一等軍醫

二人

二三等軍医

八人

二三等藥劑官

二人

看護

長

又看護手

十二人

第十二條 各支部ハ定員ノ外

要ニ應ニ事務官書記及衛生部員ヲ増

員ヲコトヲ得

第十三條 衛生部士官以下及書記ノ雇員ヲ以テ之代フルコトヲ得

第十四條 本令ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

陸軍二四

明治廿九年三月廿一日

内閣書記官

内閣總理大臣

代

内閣書記官長

井

工兵方面條例改正ノ件